

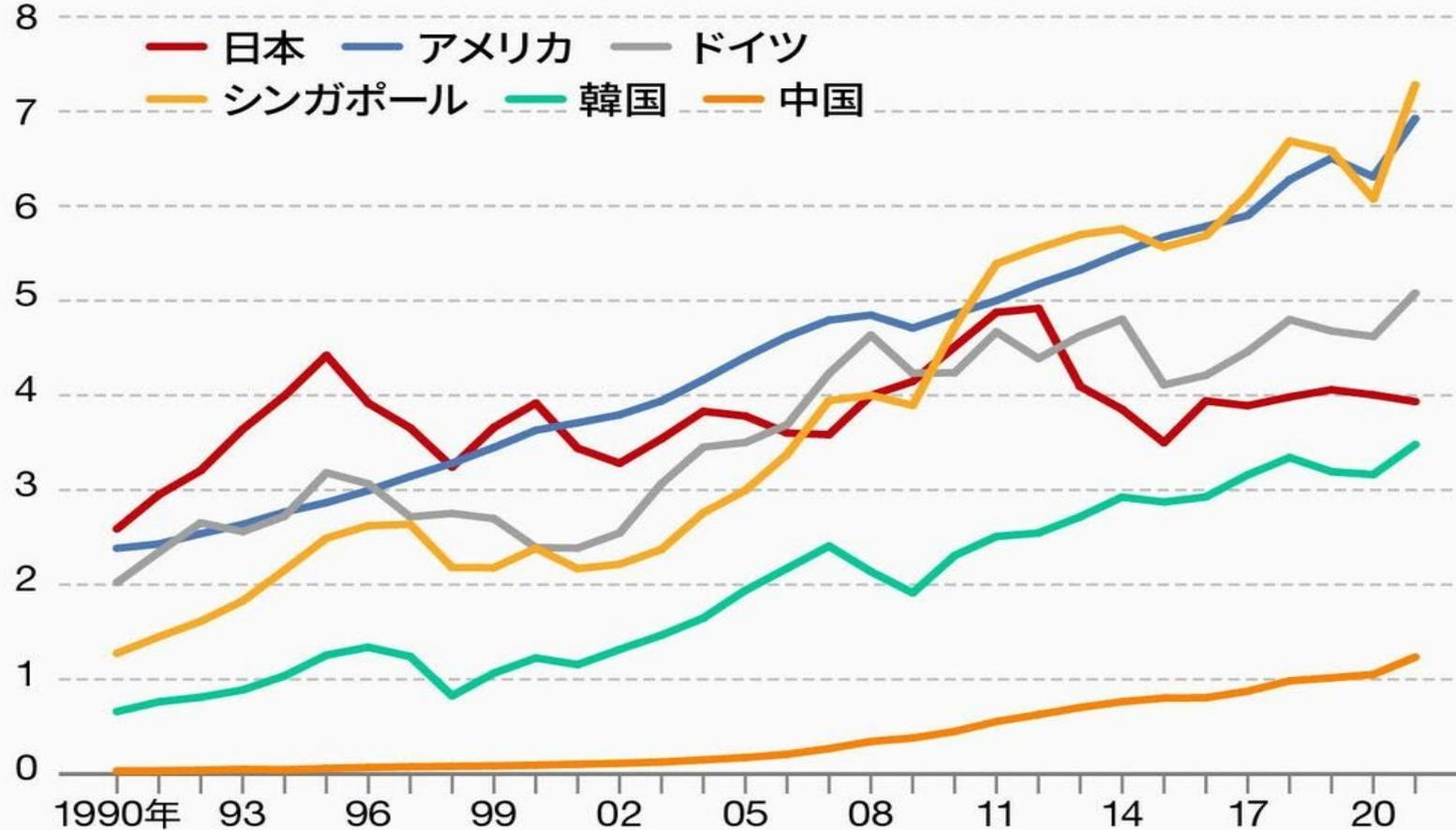
日本インターネットガバナンスフォーラム2024  
(Day 2 アジアと日本のインターネットガバナンスのこ  
れから～過去に学び未来を考える～)

いくつかご参考まで

2024年11月6日  
加藤幹之

# ■ 1人当たりGDPの推移

(万ドル)



(出所)IMF

日本の失われた30年? ⇒  
40年、50年と  
ならないため  
には?

東洋経済オンライン  
2022年7月25日より引用

# この20年余りの世界の変化

- 中国のWTO加盟は、2001年11月10日にカタール・ドーハで開催されたWTO閣僚会議にて、加盟議定書・付属書案が採択。12月11日に加盟。まだ23年しか経っていない。
- 2001年9月11日は？
- 21世紀は、インターネットの上で、デジタル社会形成 => クラウドコンピューティング、IoT、AI、量子、光、etc.
- 生成AIの急速な発展と、日本の（少なくとも一般での使用の）遅れ。日本はデジタル化自体も遅れていないか。
- デジタル関連収支は大きなマイナス。三菱総合研究所は、2023年に5.5兆円と過去最高となり、10年で2倍以上に拡大と指摘。赤字拡大の背景は、日本のデジタル化の進展とデジタルサービスの海外依存。  
[日本：デジタル関連収支（2023年） - DXを進めるほど拡大するデジタル赤字 | MRI 三菱総合研究所](#)

# オープンイノベーション3.0

- オープンイノベーション1.0 = 違った技術やビジネス形態を結合する段階（マッチメイキングの段階）
- オープンイノベーション2.0 = 技術シーズを見つけて自分なりに開発・応用し、自分のビジネスを展開
- オープンイノベーション3.0 = 新規の技術開発とビジネスモデル開発を組み合わせ、これまで無かった新しい事業を展開  
→今までオープンイノベーションの実現が難しかったのは、新しい技術に必要なビジネスモデルの構築が不完全だったため

# IGFは日本の再生の場の一例？

- イノベーションのきっかけ
- もっと世界の動きを見ること → 技術だけでなく社会、経済、政治問題も見えてくる
- 日本からも情報発信
- 国際的な仲間作り・ルール作りを仕掛けること
- 日本が土俵作りに参加すること